

総代会の機能について

当金庫は、「会員による自治」を基本に、会員同士の「相互信頼」と「相互繁栄」の精神を基本理念とした協同組織金融機関です。こうした協同組織金融機関である信用金庫の最高意思決定機関は総会です。ここでは、多くの信用金庫が総会に代えて採用している「総代会」についてご説明します。

総代会制度について

信用金庫の会員は出資口数に関係なく、ひとり1票の議決権を持ち、総会を通じて経営に参加することができます。しかし、当金庫においては、会員数が大変多く、総会の開催が事実上不可能なことから、総会に代えて会員の代表者からなる総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関であり、会員ひとりひとりの意見を適正に反映できるよう、会員の中から選任された総代により運営されております。

また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の営業活動を通じて、総代や会員の皆さまをはじめとして、さまざまなお声を経営施策に反映させるように努めております。

総代の選任や総代会の運営方法等につきましては、基本的事項は信用金庫法に、細則は当金庫の定款に定められております。そして、こうした事項の基本は「会員の自治」であります。

総代とその選任方法

① 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は、50人以上80人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。なお、令和元年6月30日現在の総代数は80人で、会員数は16,120人です。
※総代選任規程により、総代の数はその選任区域ごとの定数の半数を欠くに至らない場合は、補欠総代の選任を行わないことができます。

② 総代の選任区域

- 当金庫の地区を7区の選任区域に分ち、総代の定数は会員数に応じて各選任区域ごとに定めております。

③ 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで、総代の選考は「総代の資格基準」に基づき、次の手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選考する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

④ 総代の資格基準

- 当金庫の会員のうち①会員の意見を公正に代表できる見識を有する人格者であること。②金庫の運営に貢献しうるに足る社会的経済的活動を有する人であること。

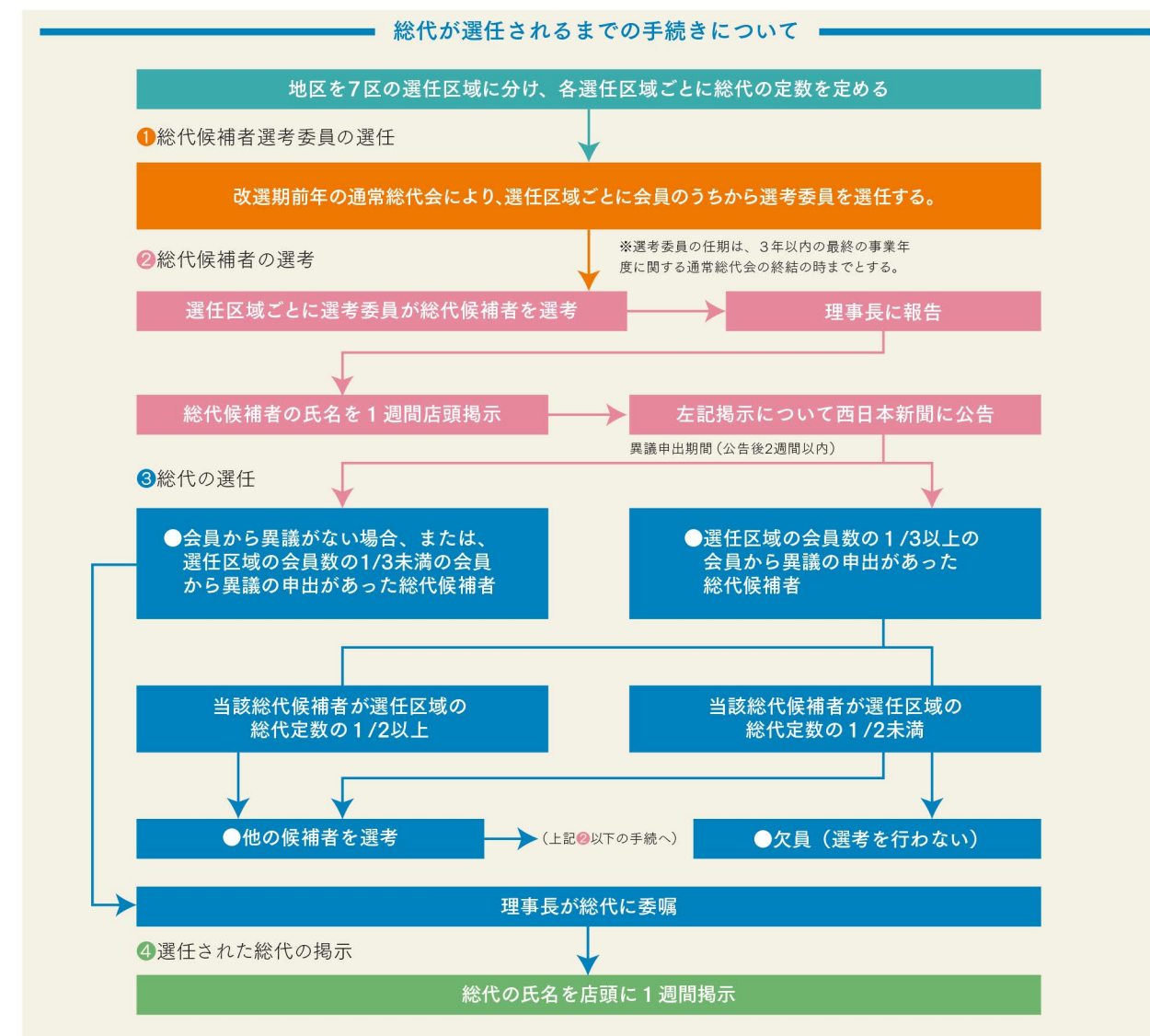
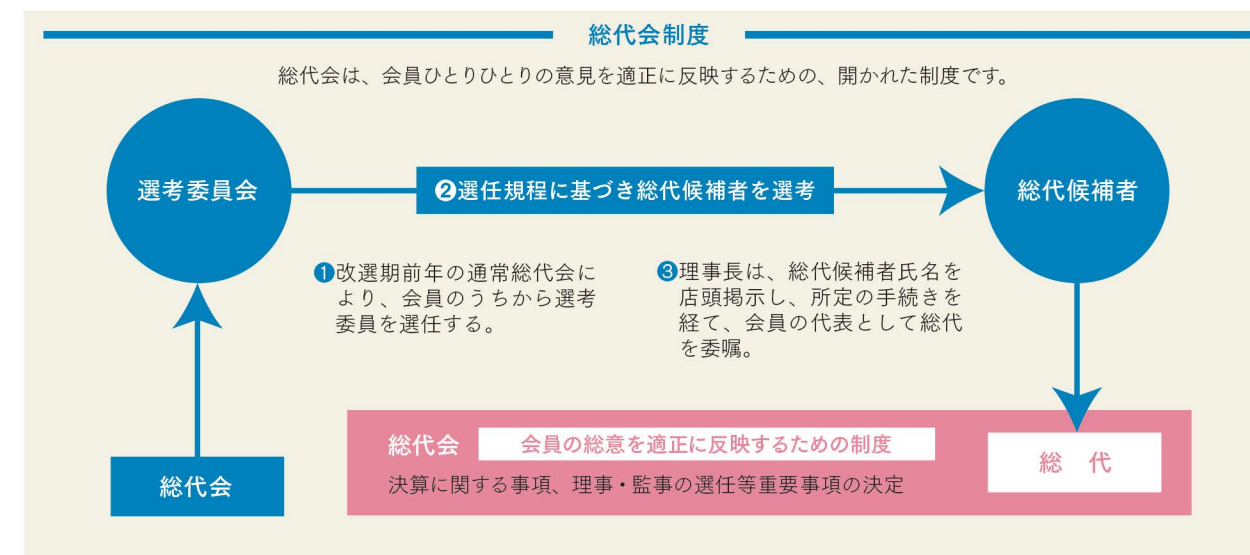
第76期通常総代会の決議事項

第76期通常総代会(令和元年6月21日)において、次の事項が付議され、それぞれ原案通り了承されました。



- 報告事項**
1. 第76期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件
 2. 出資証券ペーパーレス化の件

- 決議事項**
- 第1号議案: 第76期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)剰余金処分案承認の件
 - 第2号議案: 定款の一部変更の件
(会員たる資格、加入に関する一部変更)

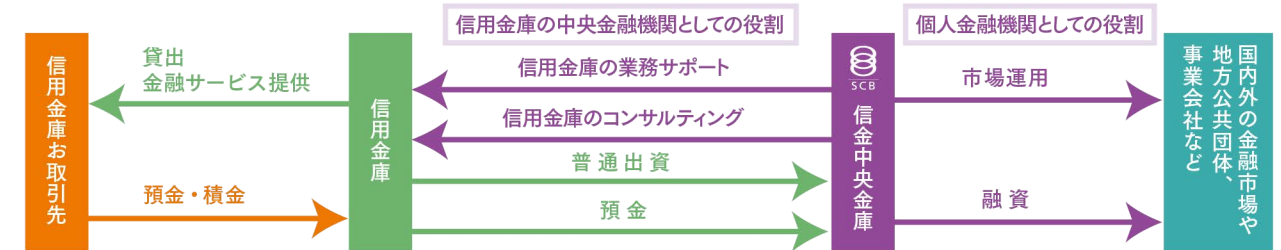


信金中央金庫(略称:信金中金)は信用金庫のセントラルバンクです。

信金中金は、信用金庫の出資によって設立された協同組織の金融機関であり、全国の信用金庫を会員とする「信用金庫のセントラルバンク」です。

信金中金は、信用金庫の中央金融機関として、為替・資金の集中決済や各種業務支援など信用金庫のさまざまな業務機能を補完しています。

また、信用金庫から預け入れられた預金と金融債を発行して調達した資金を有価証券や貸出金などによって運用しています。



【信用金庫】	金庫数 259金庫	店舗数 7,294店舗
	預金量 143兆円	役員員数 10万人

【信金中金】	拠点数	役員員数
資金量 33兆円	国内 14店舗	1,198人
	海外 5拠点	(2019年3月末現在)

信金中金の役割

信用金庫の「中央金融機関」として、①「信用金庫の業務機能の補完」、②「信用金庫業界の信用力の維持・向上」という2つの役割を果たしています。

信用金庫の業務機能の補完

信用金庫が個別に行うことが困難であったり、非効率である業務を補完しています。

信用金庫業界の信用力の維持・向上

信用金庫のコンサルタント、ホームドクターとして信用金庫業界の信用力の維持・向上につとめています。

「個別金融機関」として①「総合的な金融サービスを提供する金融機関」、②「わが国有数の機関投資家」、そして、③「地域社会に貢献する金融機関」という3つの役割を果たしています。

総合的な金融サービスを提供する金融機関

金融機関の本来業務である預貸金業務・為替業務等を行っています。また、子会社を通じて、信託、証券、投資運用、投資・M&A仲介等の「総合的な金融サービスを提供する金融機関」としての役割を果たしています。

わが国有数の機関投資家

約38兆円にのぼる運用資産を有し、そのうち約16兆円を国債、社債外国証券等の有価証券で運用するなど、わが国金融証券市場において、「有数の機関投資家」として重要な役割を果たしています。

地域社会に貢献する金融機関

地方公共団体、地元企業およびPFI事業等への直接貸出を推進しています。また、信用金庫とともに、信用金庫のお取引先の経営改善・企業再生、地域活性化への支援等にも取り組んでおり「地域社会に貢献する金融機関」としての役割を果たしています。

クローバーしんきんグループの活動

『クローバーしんきんグループ』は、福岡・筑豊地区の4金庫（飯塚・遠賀・田川・福岡）を構成メンバーとして、平成22年6月1日に発足しました。

私たちは、加盟各金庫の独自性を尊重しつつ、相互の連携を深めていくことにより、場合によっては、1金庫ではなしえない総合的な金融サービスをも提供させていただき、地域の経済、社会に貢献することを目指しています。

シンボルマーク
豊穡の象徴である四つ葉のクローバーと幸運の象徴であるトンとう虫で、4つの信用金庫とその連携・協力を表現。

総代名簿

(平成31年4月1日現在)

区	地区名	総代数	総代氏名(敬称略) (注)総代氏名後の丸数字は就任回数を表示しています。				
1	飯塚市(本町、西町、宮町、片島、飯塚、吉原町、徳前、東徳前、西徳前)	7	江藤 照之⑤	弓削 勝吉⑤	前田 精一⑤	原田 利一郎③	新藤 重任②
			藤井 正喜②	石橋 誠也①			
2	飯塚市(菰田東、菰田西、菰田、鶴三緒、堀池、忠隈、南尾、平恒、楽市、天道、太郎丸、棕本、久保白、高田、枝田、若菜、秋松、椿、安恒、津原、舎利蔵、弁分、小正)	11	加藤 完治⑫	佐々木 靖彦⑦	畑中 正行⑥	村岡 康隆⑥	石井 基文④
			三浦 修己④	國武 光秀③	林 幸治③	磯貝 芳明②	林田 俊一②
			竹本 健②				
3	飯塚市(新飯塚、立岩、新立岩、芳雄町、柏の森、下三緒、上三緒、川島、鯉田、勢田、鹿毛馬、佐與、口原、綱分、山倉、入水、高倉、筒野、赤坂、有安、有井、庄内元吉、大門、仁保、多田)	16	大塚 明人⑨	本松 茂輝⑦	池田 芳雄⑦	古賀 利広⑥	星野 文吉③
			吉田 敏明③	米岡 浩昭③	野見山 俊之③	瀧本 和徳③	柴田 多平太②
			山本 純一郎②	田代 健次②	新開 純一②	坂口 高昭②	古谷 文孝②
			廣瀬 順次②				
4	飯塚市(幸袋、中、庄司、津島、柳橋、目尾、吉北、川津、横田、伊岐須、伊川、相田、大日寺、花瀬、瀧野、明星寺、八木山、蓮花寺、蓮台寺)	15	野見山 俊郎⑨	佐々木 和彦⑤	志岐 博一⑤	柴田 務④	佐藤 健二④
			有吉 崇④	林 順一③	山下 得雄③	田中 裕幸③	辻 政和③
			藤上 敬介②	吉留 義文②	濱 良一②	白山 勝也②	吉田 聖①
5	飯塚市(長尾、平塚、北古賀、阿恵、筑穂元吉、内野、桑曲、弥山、馬敷、山口、大分、内住)嘉麻市、田川市、桂川町、田川郡、行橋市、豊前市、京都郡、築上郡	11	山崎 聡⑤	藤井 義則⑤	田代 隆博⑤	永水 恭典④	黒木 盛幸③
			西尾 康雄③	西川 良二②	高木 和夫②	三宅 利夫②	金田 義幸②
			佐藤 弘明②				
6	宮若市、鞍手町、直方市、小竹町、中間市、宗像市、福津市、北九州市、遠賀郡	9	武田 紳治⑥	石橋 康宣⑥	久場 幹夫⑤	水山 一路④	石田 徹也③
			松浦 良人③	中田 正夫②	的野 弘明②	塩川 剛敏①	
7	福岡市、春日市、大野城市、筑紫野市、古賀市、太宰府市、小郡市、朝倉市、糟屋郡、那珂川市、朝倉郡、糸島市、久留米市、うきは市、大川市、柳川市、筑後市、みやま市、大牟田市、八女市、大刀洗町、広川町、大木町	11	岩見 吉朗⑥	黒木 潤④	林 覚乗④	田中 修治③	岩瀬 文雄③
			朝部 定義②	倉田 省三②	古澤 秀治②	石橋 充教②	岩井堂 政裕②
			竹藤 彰茂①				
合計		80					

※総代氏名は、任期順、同任期は年齢順、同年齢は店舗順。

総代構成グラフ

